

男女共同参画プランⅢの中間見直しについて

1 目的

東海市男女共同参画プランⅢは、市民・地域・事業者・市が協働して男女共同参画の取り組みを推進するため、「個性を認め合い いきいきと活躍できるまち」をテーマに平成28年（2016年）3月に策定しました。この計画は、平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）の10か年を計画期間としており、令和2年度（2020年度）までを前期、令和3年度（2021年度）から後期と位置付けています。

男女共同参画に関する分析・評価を、社会情勢等の変化や計画の進み具合を考慮し、本市の実情に沿ったものとするため、令和2年度（2020年度）に指標の中間見直しを行うこととしました。

2 見直しの年度

後期期間となる令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）

3 見直しの経過

学識経験者、男女共同参画の推進に関し知識及び理解のある方、公募市民で構成される「東海市男女共同参画審議会」において審議を行いました。

4 見直しの内容 《別添参照》

(1) 基本目標・基本方針・施策について

経済・社会情勢において変動があるものの、東海市における男女共同参画に関する現状と課題については、当初計画で掲げためざすべき方向性が変わっている事項は特にみられないことから、基本目標、基本方針、施策の体系等について、修正等をしないこととしました。

(2) 成果指標について

18の成果指標のうち3指標は、すでに10年後めざそう値を達成していることから、10年後めざそう値を上方修正しました。

また、7指標については、めざそう値と差があることから、後期期間において

も引き続き、施策の推進を図り、現行の成果指標の数値を把握するとともに10年後めざそう値に向け、啓発及び事業の充実を図っていきます。

(3) その他

成果指標10	将来結婚したら家事について夫婦で協力しようと思う中学生の割合
数値取得方法	アンケート（中学生対象）を実施
	<p><アンケート内容></p> <p>質問：あなたは、将来結婚したら家事について夫婦で協力しようと思いますか</p> <p>回答：(1)思う (2)思わない (3)わからない</p>
検討理由	結婚に対するイメージが身近に感じにくく、「わからない」と答える割合が多い状況である。中学生の固定的役割分担に対する意識・考えについて把握したいという、本来の目的が達成されていない。
検討結果	回答の選択肢を「思う・どちらかといえば思う・どちらかといえば思わない・思わない」に変更する。